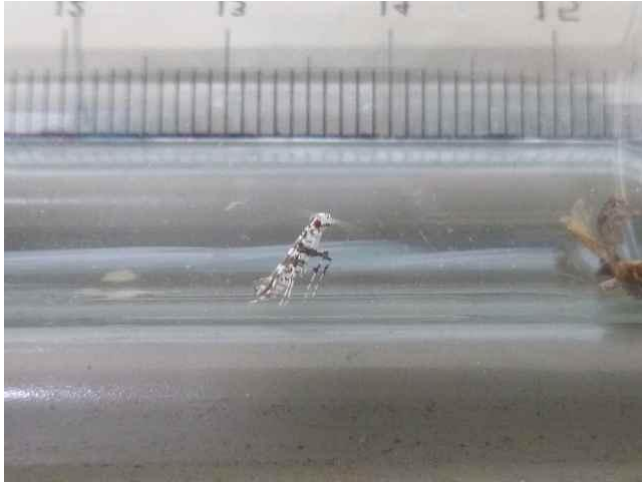


ナシカワホソガ(ナシホソガ) (pear barkminer)

Spulerina astaurota



ナシカワホソガ雄成虫



ナシカワホソガ幼虫による枝の被害

発生生態

ナシの小枝の表皮下を幼虫が線状に食害し、しばらくすると食害を受けた部分の表皮がめくれあがってきます。

めくれた部分が枯れることはありませんが、他の多くの害虫の越冬、生活場所となり二次被害の原因となります。

防除対策

幼虫は表皮下にいるため見つけにくく、薬剤も効きにくい
ため、成虫・卵の時期に対策を行うことが重要です。成虫
は6月下旬と8月下旬の2回発生するので、この時期に薬
剤で防除します。